

9 . 植物

9 - 1 . 概要

吉野川干潟における植物の分布、種数を把握するために植生調査（コドラート調査、植物相調査）を実施した。

9 - 2 . 調査内容

植生調査は、対象地全体の植生の把握を行う目的で、調査範囲内に分布する各植物群落にコドラートを設置し、植物社会学的調査法によって植生図の作成を行った。また、調査範囲内を踏査しながら出現した植物種を記録した。

各年度の調査内容、調査時期は下表の通りである。

表 9 - 1 調査内容一覧

調査年度	調査期	調査項目	調査期間
平成15年度	1回	コドラート調査	H15.9.12 ~ H15.9.12
		植物相調査	
	2回	コドラート調査	H15.10.14
		植物相調査	
	3回	コドラート調査	H15.11.13 ~ H15.11.14
		植物相調査	
平成16年度	春	コドラート調査	H16.5.25 ~ H16.5.27
		植物相調査	H16.5.25 ~ H16.5.28
	秋	コドラート調査	H16.9.21 ~ H16.9.23
			H16.11.10
		植物相調査	H16.9.21 ~ H16.9.23
			H16.11.10
平成17年度	春	コドラート調査	H17.5.7 ~ H17.5.9
		植物相調査	H17.5.7 ~ H17.5.9
	秋	コドラート調査	H17.9.24 ~ H17.9.25
			H17.10.22 ~ H17.10.23
		植物相調査	H17.9.24 ~ H17.9.25
			H17.10.22 ~ H17.10.23
平成18年度	春	コドラート調査	H18.5.29 ~ H18.6.5
		植物相調査	H18.5.29 ~ H18.6.5
	秋	コドラート調査	H18.10.16 ~ H18.10.19
		植物相調査	H18.10.16 ~ H18.10.19

9 - 3 . 調査結果

平成 15 年度から平成 18 年度までの調査結果として、表 9 - 3 に出現種一覧表、図 9 - 1 ~ 図 9 - 7 に河口干潟における植生図、図 9 - 8 ~ 図 9 - 1 4 に住吉干潟における植生図を示す。ここで、出現種一覧表では、アドバイザーとの協議により決定した表 9 - 2 に示す 10 種の指標種を網掛けしている。

表 9 - 2 評価時指標種(平成 18 年 6 月現在)

評価時指標種
ヨシ、イセウキヤガラ、ウラギク、アイアシ、コウボウシバ コウボウムギ、ケカモノハシ、ハマヒルガオ、シナダレスズメガヤ イソヤマテンツキ

注1)重要種選定基準

- ・「文化財保護法」(1950)における特別天然記念物、国・府・県・市・町指定天然記念物
- ・「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(1993)における希少野生動植物種
- ・「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 - レッドデータブック - 8植物 (維管束植物)」(環境庁・(財)自然環境研究センター・2000)
Ex:絶滅、Ew:野生絶滅、CR:絶滅危惧 A類、EN:絶滅危惧 B類、VU:絶滅危惧 C類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足
- ・「徳島県の絶滅のおそれのある野生生物」(徳島県・2001)
Ex(徳):絶滅、CR+EN(徳):絶滅危惧 A類、VU(徳):絶滅危惧 B類、NT(徳):準絶滅危惧、DD(徳):情報不足、LP(徳):地域個体群、AN(徳):留意

注2)外来種選定にあたって参考とした資料

- a) 『雑草の自然史 - たくましさの生態学 - 』付表「日本への帰化植物一覧表」(山口裕文・北海道大学図書刊行会・1997)
- b) 『原色日本帰化植物図鑑』(長田武正・保育社・1986)
- c) 『日本帰化植物写真図鑑 - Plant invader600種 - 』(清水矩宏・森田弘彦・廣田伸七・全国農村教育協会・2001)
- d) 『報道資料 - 我が国の移入種(外来種)リスト(2002年5月版)』(環境省・2002)
- e) 『外来種ハンドブック』(日本生態学会・地人書館・2002)
- f) 『日本の帰化植物』(清水建美・平凡社・2003)
- g) 『河川における外来種対策に向けて(案)』(外来種影響・対策研究会・財団法人リバーフロント整備センター・2001)
- h) 『外来生物法』(環境省・自然環境局・野生生物課・2005)における特定外来生物、要注意外来生物
- i) 『検索入門針葉樹』(中川重年・保育社・1993)
- j) 『山溪ハンディ図鑑3 樹に咲く花 離弁花』(茂木透・石井英美・崎尾均・吉山寛ほか・山と溪谷社・2000)
- k) 『山溪ハンディ図鑑4 樹に咲く花 離弁花』(茂木透・城川四郎・高橋秀男・中川重年ほか・山と溪谷社・2000)
- l) 『山溪ハンディ図鑑5 樹に咲く花 合弁花・単子葉・裸子植物』(茂木透・太田和夫・勝山輝男・高橋秀男ほか・山と溪谷社・2001)

注3)「外来種」欄の記述内容について

特:特定外来生物(外来種選定参考資料「h」より)

要:要注意外来生物(外来種選定参考資料「h」より)

(1)被害に係る一定の知見はあり、引き続き指定の適否について検討する外来生物

(2)被害に係る知見が不足しており、引き続き情報の集積に努める外来生物

(3)選定の対象とならないが注意喚起が必要な外来生物(他法令の規制対象種、

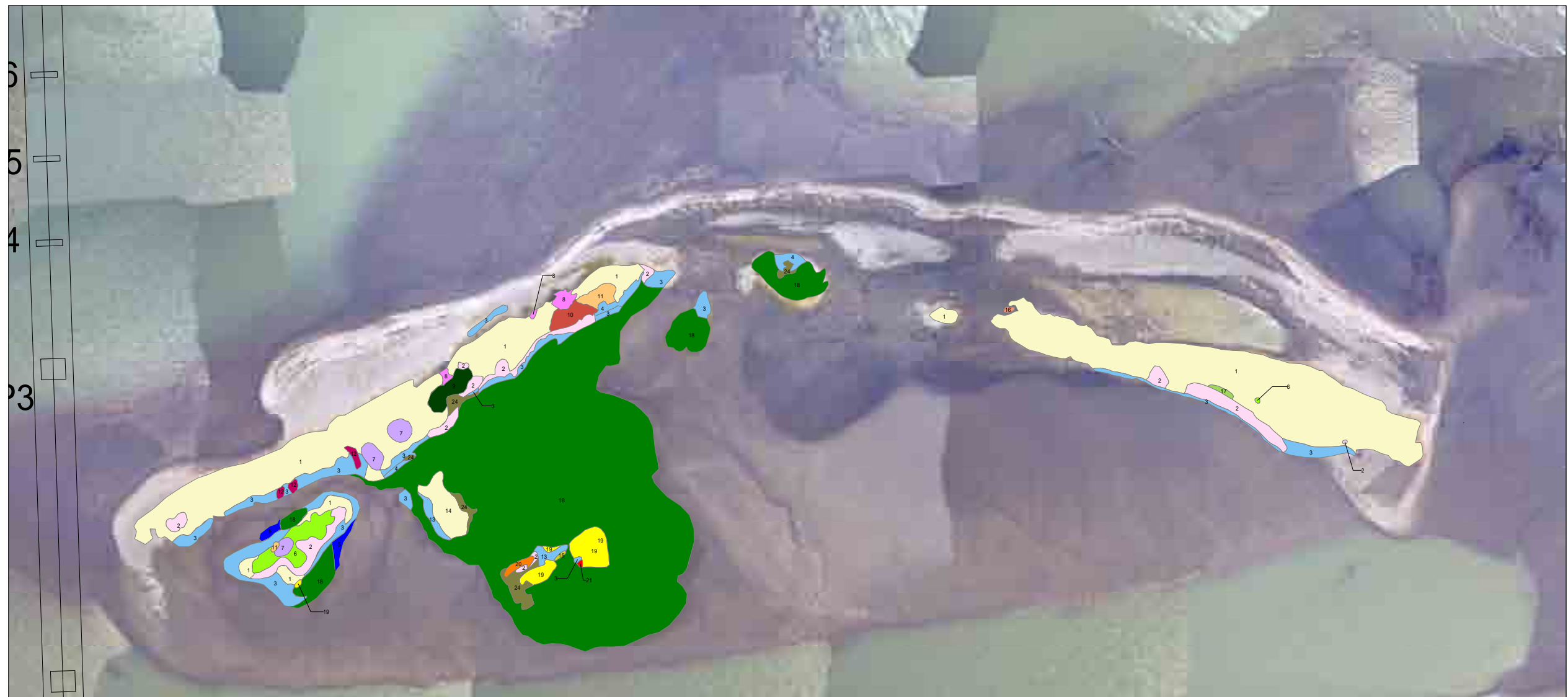
現在植物防疫法の規制対象となっている4種の外来生物が選定されている。

無脊椎動物:アフリカマイマイ、スクミリンゴガイ、昆虫類:ホソオチョウ、アカボシゴマダラ)。今回該当種無し。

(4)別途総合的な取組みを進める外来生物(緑化植物)

(「要)」の種は、直接指定されてはいいないが、要注意外来生物同士の雑種で、要注意外来生物に準ずると判断される種。今回はネズミホソムギのみ。)

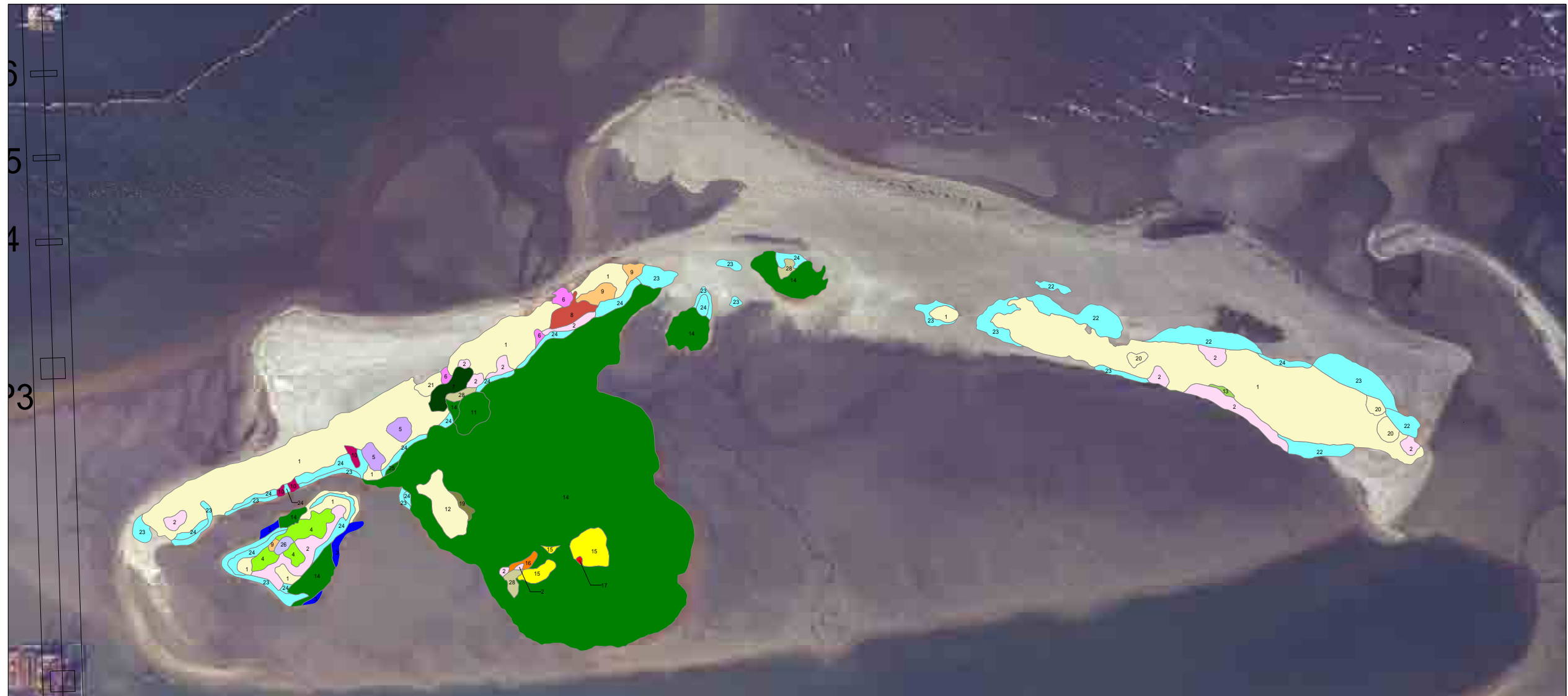
W100:外来種選定参考資料「e」における「ワースト100」該当種



凡例

- | | |
|----------------------------|------------------|
| 1. ケカモノハシ-コウボウシバ(コウボウムギ)群落 | 13. シオクグ-ヨシ群落 |
| 2. ハマエンドウ-ハマヒルガオ群落 | 14. ケカモノハシ斑状群落 |
| 3. シオクグ群落 | 15. ヤマアワ群落 |
| 4. シオクグ-ハマヒルガオ群落 | 16. ギョウギシバ群落 |
| 5. イセウキヤガラ群落 | 17. シナダレスズメガヤ群落 |
| 6. ケナシヒメムカシヨモギ群落 | 18. ヨシ群落 |
| 7. アキノゲシ群落 | 19. アイアシ群落 |
| 8. ハマゴウ群落 | 20. セイタカアワダチソウ群落 |
| 9. セイタカヨシ群落 | 21. ウラギク群落 |
| 10. コセンダングサ群落 | 22. メダケ群落 |
| 11. ナルトサワギク群落 | 23. オオウシノケグサ群落 |
| 12. ホソバノハマアガサ群落 | 24. ゴミ堆積地 |

図9 - 1 平成15年度 植生図(河口干潟)



凡例

- | | |
|----------------------------|---|
| 1. ケカモノハシ-コウボウシバ(コウボウムギ)群落 | 15. アイアシ群落 |
| 2. ハマエンドウ-ハマヒルガオ群落 | 16. セイタカアワダチソウ群落 |
| 3. イセウキヤガラ群落 | 17. ウラギク群落 |
| 4. ケナシヒメムカシヨモギ群落 | 18. メダケ群落 |
| 5. アキノノゲシ群落 | 19. ゴミ堆積地 |
| 6. ハマゴウ群落 | 20. (仮称)ケカモノハシ-コウボウシバ(コウボウムギ)群落(ハマヒルガオ優占) |
| 7. セイタカヨシ群落 | 21. (仮称)ケカモノハシ-コウボウシバ(コウボウムギ)群落(コウボウムギ優占) |
| 8. コセンダングサ群落 | 22. (仮称)コウボウシバ-コウボウムギ群落 |
| 9. ナルトサワギク群落 | 23. コウボウシバ群落 |
| 10. ホソバノハマアカザ群落 | 24. (仮称)コウボウシバ-ハマヒルガオ群落 |
| 11. ヨシ-シオクグ群落 | 25. (仮称)ヨシ群落(コウボウシバ群落からの移行型) |
| 12. ケカモノハシ斑状群落 | 26. (仮称)ネズミホソムギ-ハマニンニク群落 |
| 13. シナダレスズメガヤ群落 | 27. チガヤ群落 |
| 14. ヨシ群落 | 28. (仮称)ゴミ堆積上再生草本群落 |

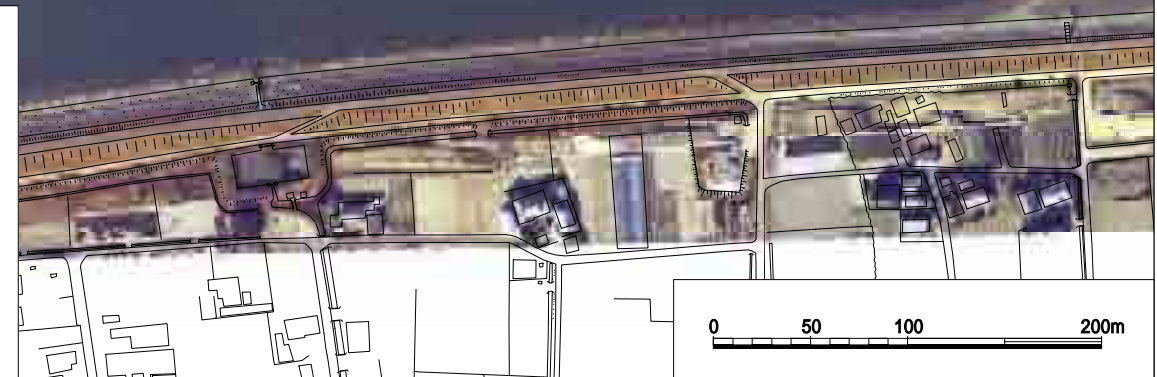


図9 - 2 平成16年度春季 植生図(河口干潟)

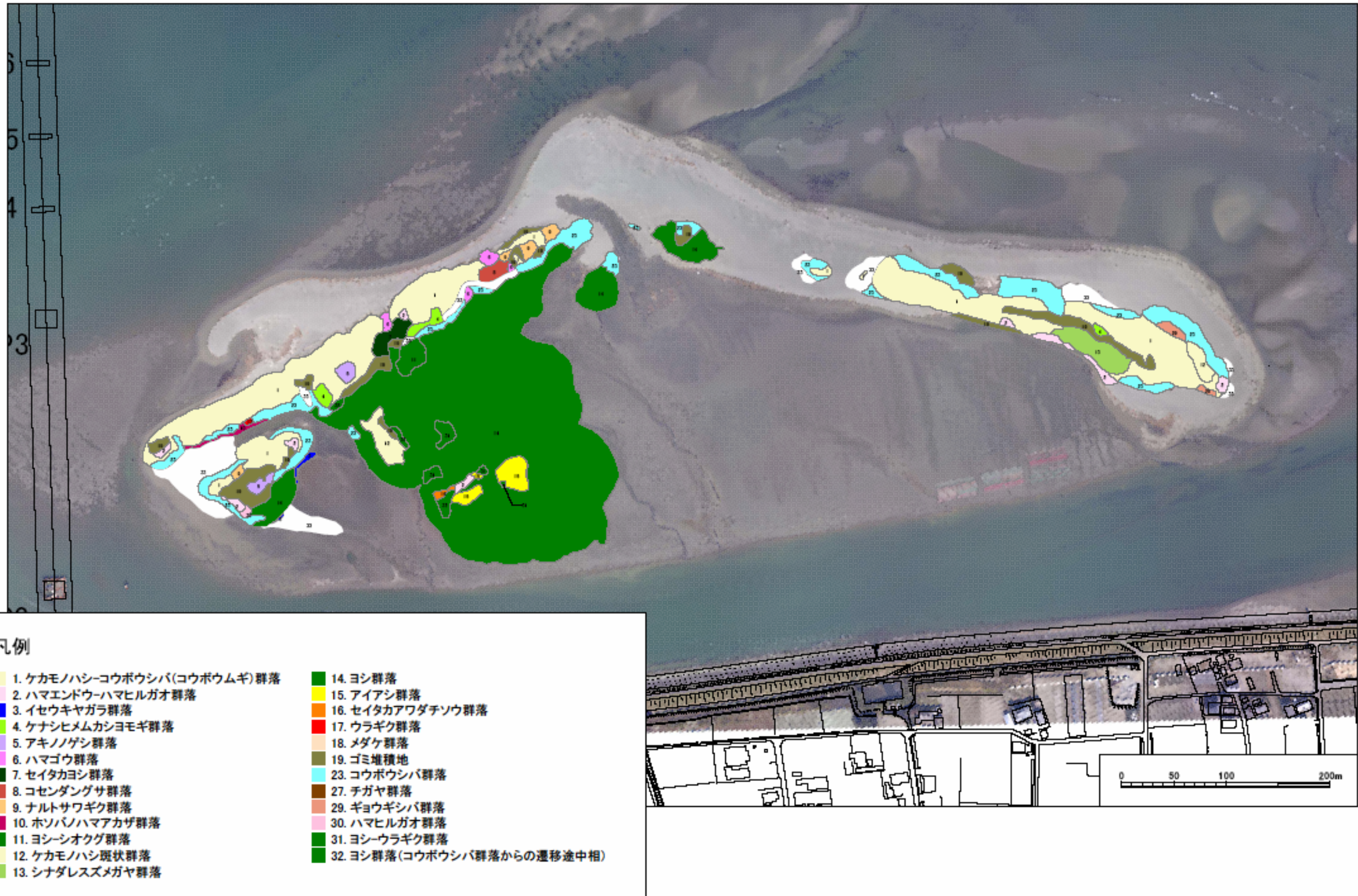


図9-3 平成16年度秋季 植生図(河口干潟)



凡例

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| 1. ケカモノハシ-コウボウシバ(コウボウムギ)群落 | 15. アイアシ群落 |
| 2. ハマエンドウ-ハマヒルガオ群落 | 16. セイタカアワダチソウ群落 |
| 6. ハマゴウ群落 | 17. ウラギク群落 |
| 7. セイタカヨシ群落 | 18. メダケ群落 |
| 9. ナルトサワギク群落 | 19. ゴミ堆積地 |
| 10. ホソバノハマアカザ群落 | 23. コウボウシバ群落 |
| 11. ヨシ-シオクグ群落 | 26. (仮称)ネズミホソムギ-ハマニンニク群落 |
| 12. ケカモノハシ斑状群落 | 27. チガヤ群落 |
| 13. シナダレスズメガヤ群落 | 31. ヨシ-ウラギク群落 |
| 14. ヨシ群落 | 32. ヨシ群落(コウボウシバ群落からの遷移途中相) |

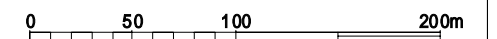


図9-4 平成17年度春季 植生図(河口干潟)



凡例

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| 1. ケカモノハシ-コウボウシバ(コウボウムギ)群落 | 14. ヨシ群落 |
| 2. ハマエンドウ-ハマヒルガオ群落 | 15. アイアシ群落 |
| 4. ケナシヒメムカシヨモギ群落 | 16. セイタカアワダチソウ群落 |
| 6. ハマゴウ群落 | 17. ウラギク群落 |
| 7. セイタカヨシ群落 | 18. メダケ群落 |
| 9. ナルトサワギク群落 | 19. ゴミ堆積地 |
| 10. ホソバナハマアカザ群落 | 22. (仮称)コウボウシバ-コウボウムギ群落 |
| 11. ヨシ-シオクグ群落 | 23. コウボウシバ群落 |
| 12. ケカモノハシ斑状群落 | 27. チガヤ群落 |
| 13. シナダレスズメガヤ群落 | 31. ヨシ-ウラギク群落 |

図9 - 5 平成17年度秋季 植生図(河口干潟)

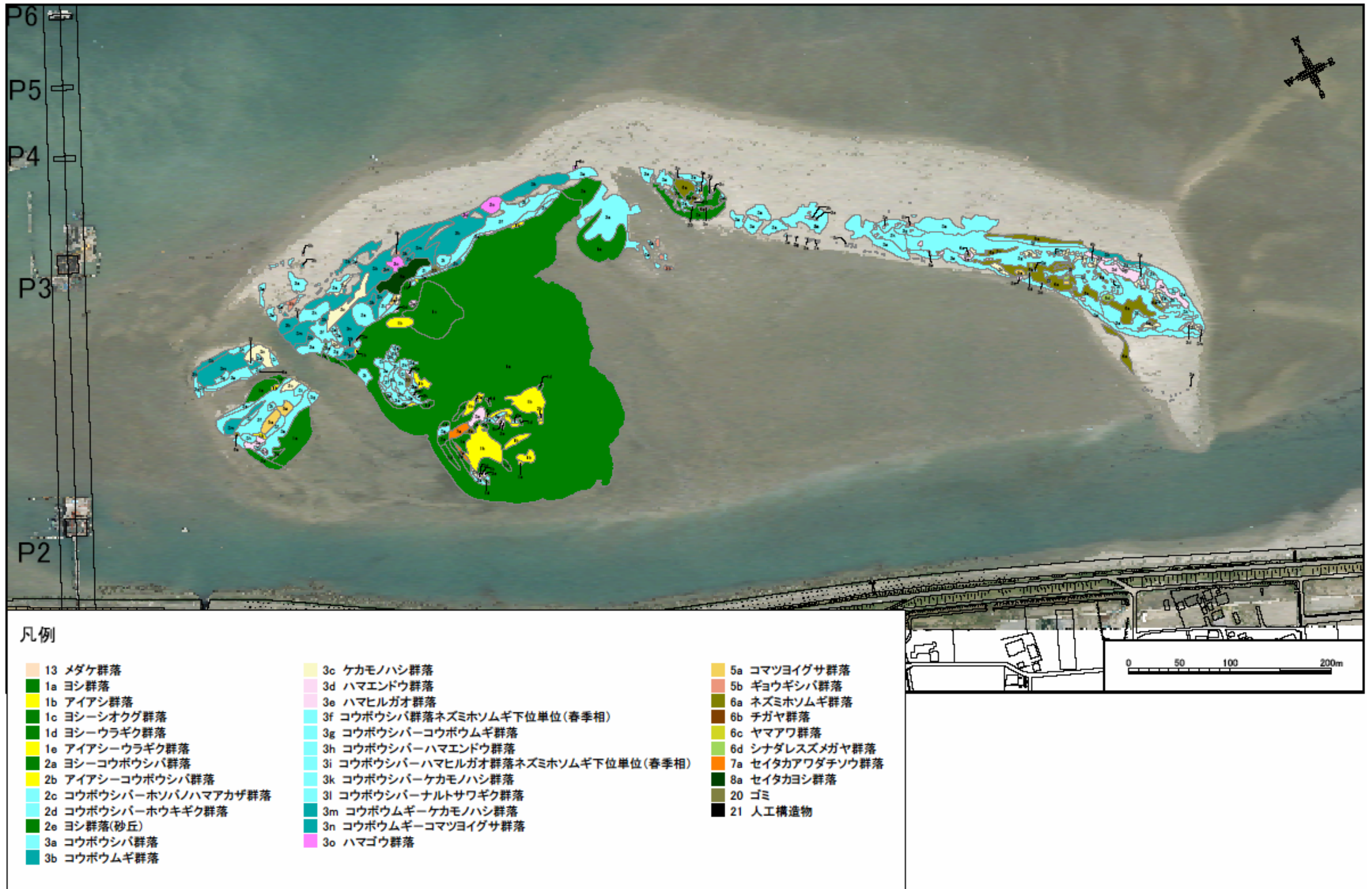


図9-6 平成18年度春季 植生図(河口干潟)

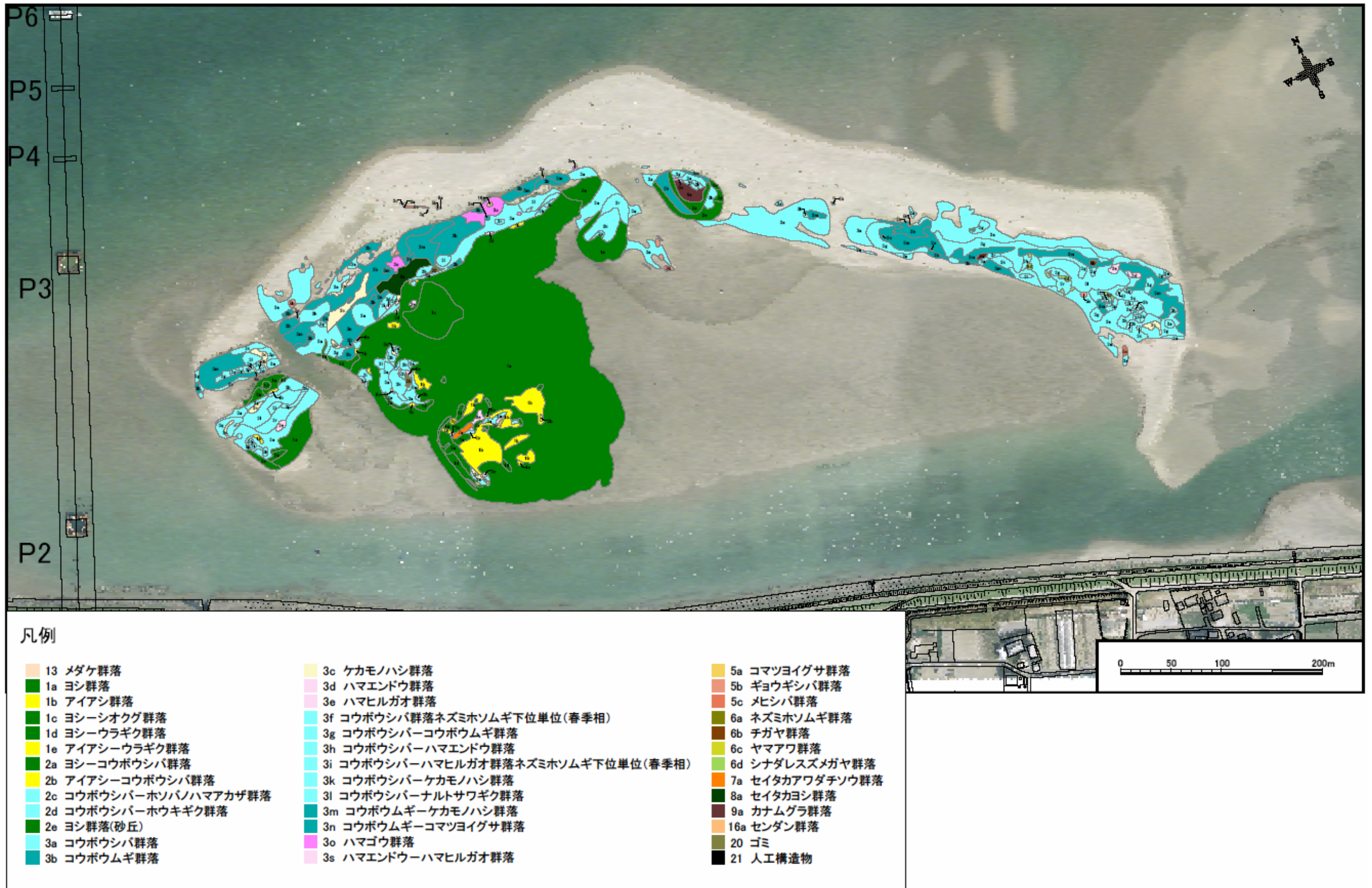


図9-7 平成18年度秋季 植生図(河口干潟)